

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 635 2020年
1部60円 9月号
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

「介護の未来」を守った 東京高裁の無罪判決確定

「あずみの里」裁判で逆転無罪

7月28日、特別養護老人ホーム「あずみの里」(長野県安曇野市)で入所者の女性(当時85歳)のおやつにドーナツを与え、窒息死で死亡させたとして、准看護師が業務上過失致死罪に問われていた裁判で、東京高裁は一番の有罪判決を破棄し、無罪判決を言い渡しました。8月11日、東京高等検察庁はこの判決について上告しないことを明らかにし、准看護師の無罪が確定となりました。

施設内で介護中に起きた入所者の事故で職員個人が刑事罰の対象とされ起訴されたのは極めて異例のことでした。医療・介護関係者を中心に無罪を求める声が大きく広がり、一番での有罪判決を覆す画期的な判決となりました。(編集部)

全国の介護現場を委縮させた一審判決

この裁判は2013年 ぐるものでした。准看護師12月、食堂でドーナツを 師が介護職の手伝いで行食べていた85歳の入所者 ったおやつへの配布後に起が突然意識をなくし、救 きた病死で業務上過失致急搬送先の病院で1カ月 死という一個人の罪によ後に亡くなった事故をめぐって起訴されました。



7月28日、東京高裁は一番の有罪判決を破棄して「無罪判決」を言い渡した。中央は代々木病院職員嘉瀬さん

起訴状の中で、医療や介護の現場で日常的に行われる「振り返りと反省」を「自白」とされたことは全国の関係者に大きな衝撃を与えました。また、「ドーナツで窒息し、それを配った准看護師」に「間食を含めて食事は、人の健康や身体活動を維持するためでなく精神的な満足感や安らぎを得るために有用かつ重要であることから、その人の身体的リスクに応じて幅広く様々な食事を摂取することは人にとって有用かつ必要である」とし、食事提供の「意義を強調しました」。

介護現場の実態を踏まえ、食事提供の意義を認めた高裁判決

一審判決に対し、東京高裁判決では、死去した入所者は、事故の1週間前まで、ドーナツなどを食べても嚥下障害は確認されず、ゼリーに変えたことも「感染症対策のため嘔吐防止を目的にしていた」とし、また「ドーナツで窒息することは予見できず准看護師に形態確認義務はない」としま

全国の介護現場に安心と未来への希望を、利用者には生活の喜びを取り戻す

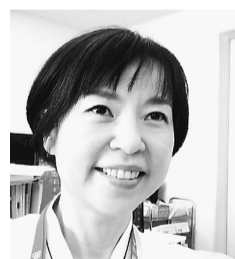
准看護師に過失がなかったことを明らかにし、さらには施設での食事提供が利用者の人間らしく生きることを支えるかけがえのない意義を持つことまで言及した高裁判決は、一審判決により委縮した全国の介護現場と関係者に、安心と未来への希望を、利用者には生活の喜びを取り戻すものとなりました。



「あずみの里」裁判で逆転無罪 審を通じて介護関係者のみならず多くの人びとから寄せられ73万筆を超え、司法を動かす大きな力となりました。

私たち自身の問題として支援

代々木病院看護部長 鈴木 海



鈴木看護部長

6年半もの長い間たかひ続けてきた裁判は東京高裁の逆転無罪判決で、ようやく終止符を打つことになりました。多くの人が注目されてきたこの裁判は、有罪判決となれば介護現場の未来を奪う、といわれてきました。あずみの里だけの問題ではなく、私たち自身の問題として裁判支援や署名に取り組んできました。

有罪判決が出れば、施設は職員を守るために委縮します。実際、長野地裁での判決は介護現場の在り方を変えてしまいました。施設によってはおやつを中止したところもあります。入所者のささやかな楽しみを奪い、介護者のやりがいも奪う裁判でした。

千駄の萱

9月1日 「防災の日」 は1923年 同日、10万人以上の死者・行方不明者を

出た「関東大震災」が由来だ。そして「関東大震災」混乱の中、旧内務省が「朝鮮人が放火・井戸に毒を入れた」とデマを流し、官憲や自警団により数千人もの朝鮮人が虐殺された日だ。竹槍や日本刀を手に通行人を問い詰め、朝鮮人とみれば殺害に及んだ▼そこには朝鮮人や中国人への差別や偏見とともに、戦争に突き進んだ国家権力の思想弾圧もあった。この歴史に学び教訓を生かそうと朝鮮人犠牲者を悼む式典が1973年以来、毎年9月1日に行われ、歴代の都知事は追悼文を寄せてきた。しかし小池都知事就任後は追悼文が一切送られない▼小池氏は2010年「不逞朝鮮人が震災に乗じて凶悪犯罪を行ったのが真相」とするヘイト団体「そよ風」で講演を行い、「そよ風」は小池都知事就任後の式典から毎年同じ公園で同日同時に集会を開き、ヘイトスピーチを拡声器で式典に向け放送する妨害を行っている。今年の式典は感染予防によりインターネット中継を視聴できる。多くの方に関心を寄せてほしい (の)